

平成 2 1 年度当初予算 施策別概要

2 2 2 農林水産資源の高付加価値化

(主担当部：農水商工部)

22201 地産地消・食育の推進 (農水商工部)

22202 農林水産資源のブランド化の推進

(農水商工部)

< 施策の目的 >

(対象) 県内外の消費者が

(意図) 付加価値の高い県産農林水産物を認知しているとともに、その提供を受けている

< 施策の数値目標 >

施策目標項目 (主指標)		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
「三重ブランド」として認定された農林水産品目の認定事業者数	目標値	-	40 事業者	42 事業者	42 事業者	43 事業者
	実績値	39 事業者	42 事業者			

ブランド化された農林水産品目の認定事業者数(三重ブランド認定委員会の審議を経て知事が認定したもの)

県の取組目標項目 (副指標)		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
県内産品を意識的に購入する人の割合	目標値	-	38%	42%	48%	50%
	実績値	34%	42%			
「三重ブランド」として認定された農林水産品目数	目標値	-	10 品目	11 品目	11 品目	12 品目
	実績値	9 品目	11 品目			
「三重ブランド」ホームページアクセス数	目標値	-	18,500 件	20,000 件	20,000 件	20,000 件
	実績値	18,016 件	20,150 件			

< 進捗状況 (現状と課題) >

- ・農林水産物の高付加価値化を目指す取組や、地域資源について商品化に向けた取組等を支援しています。また、三重県産品のイメージリーダーとして「三重ブランド」を県内外に情報発信するとともに、首都圏での展示会やイベントを開催し、県産農林水産物等の普及拡大・販路開拓に努めています。
- ・地産地消及び食育に関する情報発信や、多様な主体の連携による実践活動を支援するとともに、県産食材等の魅力づくりや、県民が県産食材にふれることができる環境づくり、安心食材の表示制度等の普及拡大に取り組んでいます。さらに、食品製造事業者の信頼回復に向けた自主的な取組を促進しています。
- ・農林水産物などの食品の流通や販売においては、輸入品の台頭、国内産地間競争の激化、県外加工品との競合など、依然として厳しい状況が続いています。
- ・食の安全・安心に関する消費者の関心の高まりから、県内産品を意識的に購入する人の割合が徐々に高まるとともに、安心食材等に対する流通事業者からの需要が拡大してきています。
- ・商品化・ブランド化に向けた事業者の自主的な取組を積極的に支援するとともに、地産地消及び食

育を進める多様な主体が連携した実践活動を促進する必要があります。

- ・安心食材等の魅力ある県内産品が、県民に安定的に供給できるよう支援していくほか、食品製造事業者等の信頼回復に向けた自主的な取組を支援していく必要があります。

<平成21年度取組方向>

地産地消運動を一層定着させるため、県産食材に県民がふれる機会を増加させる環境づくりに取り組むとともに、地産地消や食育に関する情報提供や、地域の特色に応じた地産地消運動の実践への支援、学校給食における地域食材の活用促進をはじめとした食育の推進に取り組めます。

県産食材やそれらを用いた加工食品の魅力向上を促すとともに、安全・安心で環境に配慮した持続可能な農業の推進や、「みえの安心食材」の供給拡大への取組を広げていきます。また、そうした生産現場の取組を県民にわかりやすく伝える表示手法の検討を進めます。あわせて、食に関する信頼を回復するため、食品製造事業者等のコンプライアンスや品質管理の徹底など経営品質向上活動をはじめとした自主的な取組を促進します。

地域資源を活用しブランド化に成功した品目と事業者を適正に評価し、モデル的な取組を三重ブランドとして積極的に情報発信するとともに、高付加価値化、ブランド化に取り組む人材の育成を進めます。また、その素材となる地域資源について調査・評価し、有効な活用方策を検証することにより、事業者の積極的な活用を促進します。

首都圏等での情報発信や消費志向の把握などの場づくりを行うとともに、これを活用した多様な産品の創出などの地域産品の振興につながるしくみづくりに取り組めます。

農林漁業者と商工業者の連携を誘発し、新たな着眼により創意工夫を生かした特色ある商品やサービスの創出を促進するしくみの構築に向けた取組を進めます。

<主な事業>

(舞) 地産地消・地域連携創造支援事業【基本事業名：22201 地産地消・食育の推進】

予算額：(20) 42,235千円 (21) 39,929千円

事業概要：地産地消・食育情報の提供を行うとともに、多様な主体が連携して取り組む地域実践活動に対して支援します。また、地産地消を推進する施設整備や団体の食育活動を支援するとともに、学校給食への地域食材の導入を通じた食育の推進をはかります。

(舞)「みえの食」魅力づくり応援事業【基本事業名：22201 地産地消・食育の推進】

予算額：(20) 13,860千円 (21) 11,472千円

事業概要：魅力ある食材の開発や提供に取り組む意欲ある事業者を対象に、アドバイザー派遣や事業者間のマッチング支援などを行います。また、「みえ地物一番の日」キャンペーンでは、学校給食の場面への拡大や、協賛事業者との連携により、消費者へ生産現場の想いを伝えていくしくみづくりに進めていきます。

(一部新)(舞) みえの食・安心安全確立推進事業【基本事業名：22201 地産地消・食育の推進】

予算額：(20) 24,947千円 (21) 32,862千円

事業概要：安全・安心で環境に配慮した持続的な農業を進めるため、「みえの安心食材」の供給拡大や、生産工程管理手法(GAP)の導入を進めるとともに、生産現場の取組をわかりやすく表示する手法を検討します。また、「地域特産品(Eマーク)認証食品」の普及拡大を図ります。あわせて、食の信頼確保に向けた食品事業者等による自主的な取組を促進するため、トップセミナーの開催や事業者相談等の支援を行います。

(重) 地域資源ブランド化支援事業【基本事業名：22202 農林水産資源のブランド化の推進】

予算額：(20) 68,981千円 (21) 65,536千円

事業概要：地域に埋もれている農林水産物を発掘・再評価し、新たなビジネスシーズとして情報発信するとともに、地域資源を活用し、高付加価値化を戦略的に展開する人材を育成します。また、ブランド化に成功した県産品及び事業者を「三重ブランド」として認定するとともに県内外に情報発信します。

(一部新)(重) 首都圏・海外市場開拓支援事業

【基本事業名：22202 農林水産資源のブランド化の推進】

予算額：(20) 40,921千円 (21) 32,532千円

事業概要：首都圏に三重県産品市場開拓スーパーバイザーを配置して、マッチング支援や高付加価値化支援に取り組むとともに、食品関係の展示商談会などに出展し、首都圏等での県産農林水産物等の市場開拓に取り組みます。また、首都圏における県産品の流通機能向上に向けて取り組みます。

(新)(重) 農商工連携機会創出事業【基本事業名：22202 農林水産資源のブランド化の推進】

予算額：(20) - 千円 (21) 2,000千円

事業概要：農林漁業者による商工事業者と連携した取組を促すため、農林漁業者が、商工事業者に自らの生産物の魅力を伝え、その意見を積極的に収集できる場づくりを進め、農商工関係につながる人材の育成に取り組みます。